

『栃木の在村記録』

幕末維新期の胎動と展開』第二卷

岡田親之日記(二)

万延元年(1860)～
慶応三年(1867)

編 田中正弘 (國學院大學
栃木短期大学教授)

目次

- 解題
- 第一章 岡田家日記について
- 第二章 名主岡田家姉妹の「御殿奉公」について
- 第三章 水戸天狗党騒乱事件後の社会不穏と悪党の横行
- 第四章 関東取締出役石井鐘之助と岡田親之
- 第五章 新生児と「まくり」ないし「まくり土」について
- 史料
万延元年～慶応3年、岡田親之日記

販売

B5判 九四〇頁
定価 六、〇〇〇円

栃木市教育委員会
生涯学習部 文化課
(栃木市役所 四階)
月々金曜日
午前九時～午後五時
Tel〇二八二(二一)二四九七

岡田記念館
土日月祝日のみ開館

午前九時三十分～午後四時三十分
Tel〇二八二(二二)〇〇〇一

